

山形大学医学部附属病院薬剤部メモ

3月11日(金)

2時46分 地震発生

調剤室の天井一部落下
管理室の壁に亀裂
停電 自家発電に切り替え

3月12日(土)

8時集合 薬剤部 対策検討
天井の修理
医薬品の在庫確認 3日分
不足分発注
PM10時 大谷看護部長から自宅へ電話あり
東北大学病院へ医薬品の供給の件
学部長へ連絡
災害時の処方箋医薬品の扱いについて厚労省より発令

3月13日(日)

8時 対策本部へ
東北大学病院への医薬品供給の件について協議
真野薬剤部長へ電話 当面は医薬品が足りるとのこと
PM9時 薬剤部当直者から自宅へ電話あり
東北大学病院から医薬品の供給願いあり
来院 薬剤部で協議 SPD含む

3月14日(月)

8時 対策本部へ

門前薬局の対応確認

院外処方および外来処方を最大、原則14日間と決定

東北大学病院への医薬品リスト病院長へ確認

東北大学病院から取りに来るよう要請 承知確認

9時 院外処方箋の日数を14日間とする旨、県内病院薬剤部長へFAX

10時 県薬より院外処方箋の日数、14日間確認電話あり

12時 厚労省より本部へ必要物品リストの作成依頼

医薬品リストを本部へ提出

SPDから卸へ必要な医薬品を発注

医薬品の在庫3日間から1週間に変更 本部へ連絡

13時 東北大学病院から医薬品搬送車両の到着

搬送

対策本部へ連絡

15時 手術部連絡会および手術部運営会議臨時開催

医療材料、医薬品の在庫が3~7日間のため

手術の制限、各診療科で優先順位を付けて提出

第二外科:東北大学病院から手術患者の搬送(明日予定)

入院患者についても緊急患者優先

16時 腫瘍内科よりがん患者への対応について相談あり

17時 対策本部へ

新規がん患者は、各診療科で優先順位、なるべく避ける

腫瘍内科より各科へ文書配布

東北大学病院から第三内科へ白血病患者の治療要請あり

キロサイドの手配終了

造影剤の在庫1週間分あり、その後の在庫不明

3月15日 17時30分から 地震対策説明会予定

3月15日(火)

8時 医薬品備蓄1週間後の対応

南東北で機能している病院は当院のみ

できるだけ多くの医薬品を備蓄するよう指示あり

ジェネリック薬品でも対応可

安定ヨウ素剤取り扱いマニュアル入手(ネットから)

12時 ヨウ素製剤の確保依頼(錠剤)

院内製剤の内服用ルゴール液在庫確認(約1万人分あり)

遠隔地で処方箋のみでの処方可能(無診察)

退院処方は14日までとする旨、院内通知

転科時の薬剤は持参使用可

17時 *計画停電時の院外処方箋の扱いについて検討

*各医局等へ栄養管理部から米の支給、明日9時

*病院運営委員会・連絡会合同会議

これまでの経緯と今後の対応

毎日、放射線測定の結果を掲示

1mmシーベルトとなったらヨウ素製剤の配給

3月16日(水)

8時 *放射線関連の患者は村山保健所へ

当院では受けない。(外来へ掲示)

*計画停電のため院外処方箋は16時までに発行(17時停電)

*電話による院外処方箋について、医師は処方箋発行時に患者の電話番号、調剤薬局名を処方箋に記載しFAXコーナーへ看護師が持参、送信。コピーを医事課へ、後日応需薬局へ本箋を郵送。

*東北大学病院から滅菌依頼あり(材料部)

13時 職員(40歳以下)のリスト作成、各診療科へ院内製剤の

内服用ルゴール液および服薬方法パンフレット作成し配布準備

14時 東北大学病院から整形外科手術患者到着